



インフルエンザって
かぜとは違うの？

違います。
かぜとインフルエンザは原因となる
ウイルスが異なる別の病気です。
かぜのひどくなったものが
インフルエンザではありません。



緊急特集 新型インフルエンザについて

「新型インフルエンザ予防マニュアル」(知識のワクチン)より

【知識編】

■新型インフルエンザとは何か？

メキシコに端を発した豚インフルエンザの世界的な感染拡大で、4月30日にはWHO(世界保健機関)がフェーズ(警戒水準)を5に引き上げ、新型インフルエンザが今後世界的に流行する可能性が極めて高いと指摘し、わが国でもこれに対応した感染防止対策が進められている。

5N1型鳥インフルエンザを起源とするタイプとは異なっているが、これを契機として、各事業者においても、新型インフルエンザについて正しい知識を得ることが不可欠だ。

そこで、今号では元国立感染症研究所研究員で医学博士の岡田晴恵先生の「新型インフルエンザ予防マニュアル」(知識のワクチン)をもとに、「新型インフルエンザ」について緊急に特集した。

従来は人に感染すること
がなかった鳥インフルエンザが変化した。人から人へと容易に感染するようになったインフルエンザを「新型インフルエンザ」と呼びます。

型インフルエンザとして大流行を起こすのは、A型で44種類(亜型)に分けら

れま
す。も
とも
とは、
その
すべ
てが
鳥イ
ンフ
ルエ
ンザ
なの
です
が、
ウイ
ルス
は絶
えず
変化
して
おり
、数
十年
に一
度の
頻度
で、
それ
まで
には
感染
しな
かっ
た、
ま
だ
新
しい
亜
型の
ウイ
ルス
が
人
か
ら
人
へ
も感
染す
る
よ
う
に
な
る
こ
と
が
あ
り
ま
す。
こ
う
し
て、
鳥イ
ンフ
ル
エ
ン
ザ
が
変
化
し
て
人
か
ら
人
へ
と
う
つ
る
よ
う
に
な
っ
た
イ
ン
フ
ル
エ
ン
ザ
を
「
新
型
イ
ン
フ
ル
エ
ン
ザ
」
と
呼
び
ま
す。
新
型
イ
ン
フ
ル
エ
ン
ザ
は、
誰
も
免
疫
を
も
つ
て
い
な
い
の
で、
パ
ン
デ
ミ
ック
(感
染
症
による世界的流行)が起

これまでにもあった「新型インフルエンザ」

20世紀には、スペインかぜ、アジアかぜ、香港かぜの3度の新型インフルエンザによる大流行がありました。なかでもスペインかぜは、膨大な犠牲者が出ました。日本ではかぜといわれますが、いずれも当時の新型インフルエンザでした。

過去の新型インフルエンザ

1918年 スペインかぜ (H1N1)
1957年 アジアかぜ (H2N2)
1968年 香港かぜ (H3N2)

スペインかぜ (1918~1920年) の被害

世界での被害	
世界人口	18億人
感染発症者	5~10億人
死者	4,000~8,000万人

日本での被害	
日本の人口	5,500万人
感染発症者	2,300万人
死者	38~45万人

■出現が恐れられるH5N1型新型インフルエンザ

現在、鳥類の間ではH5N1型(強毒型)鳥インフルエンザが流行しており、人への感染も続いています。非常に毒性の強いこのウイルスが人の間で流行する新型に変化する可能性が高いと多くの専門家が考えており、世界中で対策が進められています。

H5N1型鳥インフルエンザは、人へ感染した場合も鶏と同様に全身でウイルスが増える強毒性を示しています。WHO(世界保健機関)が確認しているだけで385人が感染し、致死率は60%を超えています(2008年6月)。感染

者は、発熱、咳のほか、多臓器不全を起こし、肺炎から呼吸不全などで死に至るといふ事例が報告されています。

態になりま
す。ス
ペイ
ン
か
ぜ
で
も、
サイ
ト
カ
イ
ン
・
ス
ト
ム
が
起
こ
っ
た
た
め、
若
年
者
の
死
亡
者
が
多
か
っ
た
と
報
告
さ
れ
て
い
ま
す。

■新型インフルエンザはいつ発生するか？

発生する時期を正確に予測することは不可能ですが、H5N1型鳥インフルエンザウイルスの遺伝子解析の結果、だんだんと人に感染しやすいように変異していることが確認されています。

新型発生までの導火線は確実に短くなっています。

※H5N1型とは別の鳥インフルエンザ(この場合は弱毒性の可能性が高い)が発生する可能性も否定できません。

現在、H5N1型鳥インフルエンザは世界中に広がっているため、この鳥イン

フルエンザを完全になくし、新型インフルエンザの発生リスクをゼロにすることは不可能になっています。WHOでは「H5N1型の新型インフルエンザの発生は、発生するかどうかの問題でなく、いつ発生するかの問題だ」と言っています。

新型インフルエンザといっても毒性はさまざま

過去に新型インフルエンザは、すべて弱毒型の鳥インフルエンザがもとになっていた
スペインかぜ (1918年) 死者 4,000~8,000万人
アジアかぜ (1957年) 死者 200万人
香港かぜ (1968年) 死者 100万人

出現が恐れられるH5N1型新型インフルエンザはもとになる鳥インフルエンザの毒性が段違いに強い

H5N1型新型インフルエンザは、10代・20代の致死率が高くなっていることだ。

この理由は、体の免疫機能が過剰反応し、自分自身の組織を傷つけてしまう「サイトカイン・ストーム」が起きているためだと考えられています。サイトカイン・ストームは、免疫機能がよく働いている若い年代が引き起こしやすい現象です。これが起こるとあらゆる臓器が損傷し、重篤な状

態になりま
す。ス
ペイ
ン
か
ぜ
で
も、
サイ
ト
カ
イ
ン
・
ス
ト
ム
が
起
こ
っ
た
た
め、
若
年
者
の
死
亡
者
が
多
か
っ
た
と
報
告
さ
れ
て
い
ま
す。

動向が注目されています。過去の新型インフルエンザは、すべて鳥インフルエンザ由来だといことがわかっています。鳥インフルエンザが流行を続けると、新型インフルエンザが発生するリスクを高めてしまうのです。

腸管内で無害な状態で存在しています。通常の鳥インフルエンザウイルスは、鶏などが感染しても卵の生みが悪くなる程度の影響しかでない「弱毒型」です。しかし、一部の鳥インフルエンザウイルスは強毒性を示します。「強毒型」の鳥インフルエンザに感染した鶏は、全身で感染を起こし、1~2日では

弱毒型と強毒型の2種類があります。

鳥インフルエンザウイルスは、本来的に鳥類で流行するインフルエンザです。2003年以降、H5N1型の感染が拡大しており、3億羽を超える鳥が死んだり、処分されたたりしています。1997年には香港でH5N1型鳥インフルエンザが初めて人に感染し、それ以降、人への感染が増えてい

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

H5N1型鳥インフルエンザの特徴は、10代・20代の致死率が高くなっていることだ。

この理由は、体の免疫機能が過剰反応し、自分自身の組織を傷つけてしまう「サイトカイン・ストーム」が起きているためだと考えられています。サイトカイン・ストームは、免疫機能がよく働いている若い年代が引き起こしやすい現象です。これが起こるとあらゆる臓器が損傷し、重篤な状

態になりま
す。ス
ペイ
ン
か
ぜ
で
も、
サイ
ト
カ
イ
ン
・
ス
ト
ム
が
起
こ
っ
た
た
め、
若
年
者
の
死
亡
者
が
多
か
っ
た
と
報
告
さ
れ
て
い
ま
す。

動向が注目されています。過去の新型インフルエンザは、すべて鳥インフルエンザ由来だといことがわかっています。鳥インフルエンザが流行を続けると、新型インフルエンザが発生するリスクを高めてしまうのです。

腸管内で無害な状態で存在しています。通常の鳥インフルエンザウイルスは、鶏などが感染しても卵の生みが悪くなる程度の影響しかでない「弱毒型」です。しかし、一部の鳥インフルエンザウイルスは強毒性を示します。「強毒型」の鳥インフルエンザに感染した鶏は、全身で感染を起こし、1~2日では

弱毒型と強毒型の2種類があります。

鳥インフルエンザウイルスは、本来的に鳥類で流行するインフルエンザです。2003年以降、H5N1型の感染が拡大しており、3億羽を超える鳥が死んだり、処分されたたりしています。1997年には香港でH5N1型鳥インフルエンザが初めて人に感染し、それ以降、人への感染が増えてい

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の

は、もともとは、水鳥の